

2 x CAN/LIN ロガーと Vector CANoe による LIN バスの診断

[Case Studies](#) / Proton

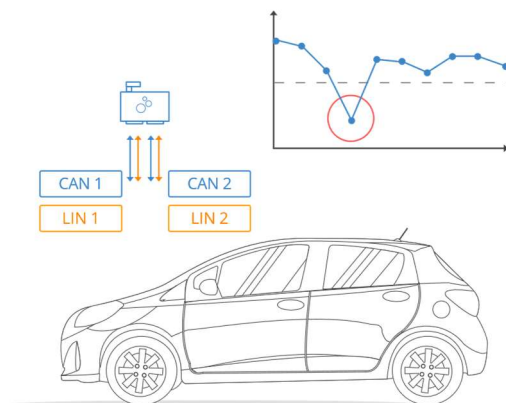


Proton

About: Proton は自動車の設計、製造、流通、販売を行うマレーシアの自動車会社です

解決すべき課題は?

我々は、開発目的で ECU をテスト/分析するために、現場で稼働している車両のデータを CANedge2 で記録しています。CAN と LIN の両方の通信の観点から車両のアクティビティを記録し、故障の原因を調査する必要があります。



どのように課題を解決した?

CANedge2 を使用して、CAN バスと LIN バスの両方の通信を記録しました。今のところ、車両のログファイルは 2 週間ごとに SD カードで収集しています。将来的には、WiFi 転送を利用してさらなる自動化を目指しています。通信情報をデコードするために、CAN と LIN の DBC ファイルを作成し、その後様々なソフトウェアツールを用いて解析を行いました。CSS 社の無償の asammdf の GUI を使用する場合もあれば、CANedge2 の MF4 ログファイルを MF4 コンバーターを使って Vector ASC に変換する場合があります。後者の場合は、CANoe を使って特殊な解析を行うこともあります。

メリットは?

このデバイスは、CAN/LIN データを収集するための簡単で信頼性の高い方法を提供してくれました。CANedge2 を使うことで、ソフトウェアの開発やトラブルシューティングを迅速に行うことができました。現場でノート PC が不要なのも非常に良い点です。

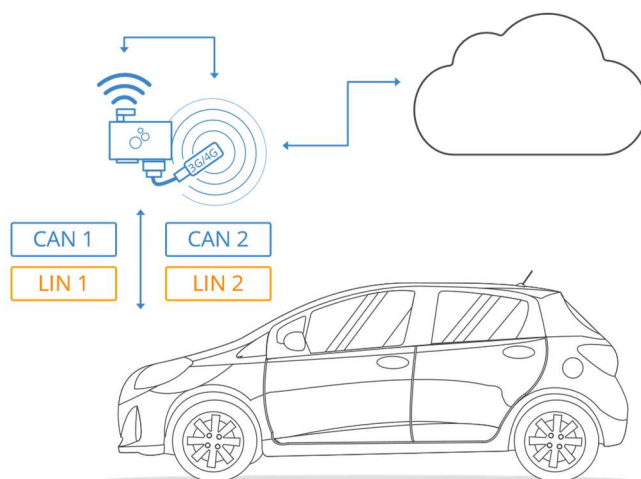
“CANedge2 はトラブルシューティングのための迅速なソリューションであり、CSS Electronics による印象的なサポートがあります！”

なぜ CANedge を選んだのですか？

CANedge2 は非常に手頃な価格で、自動ロギングができ、サイズも小さかったからです。 *Ahmad Rois Bin Abd Razak, Development and Testing Engineer, Proton*

CSS 社のコメント

Proton 社のユースケースでは、2 x CAN + 2 x LIN を使用しており、CANedge2 のハイブリッド機能をフルに活用しています。このチャンネルの組み合わせとコンパクトなサイズは、特に自動車の OEM 開発プロジェクトに適しています。MF4 フォーマットでは、4 つのチャンネルが同じログファイルに格納されるため、asammdf GUI (LIN Description Files (LDF) もサポート) や Python API などを使ってデータを簡単に処理できます。



国内問合せ:

シェルパ株式会社

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-4 京浜建物第2ビル

TEL: 045-475-2701

e-mail: automtv_info@sherpa-tech.jp

<https://www.sherpa-tech.jp>

